

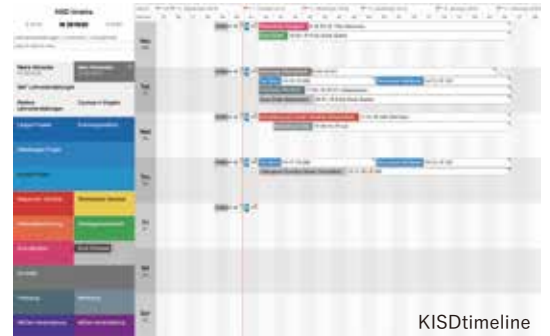
Köln International School of Design

1

勉学の状況

履修登録

9月前半は履修登録期間がありました。履修はオンライン登録期間とオフライン登録期間がある、コースの種類と量が多い、期間や時間が被らないように組み合わせを作らなければならない、など考慮すべき点が多く複雑です。KISDtimeline という履修のシミュレーションが出来るシステムを活用しながら期間一杯悩んでようやく決まりました。人気のある授業はとれない人も多く出てしまうのですが運良く概ね希望通りにとれたので来月からの意欲がより高まっています。



KISDtimeline



Pecha Kucha

Welcome Day

9月19日に留学生のウェルカムパーティがあり、初めてKISDの学生と顔を合わせました。KISDに関する説明を受けた後、それぞれの学校や自分自身について紹介するPecha Kuchaというプレゼンテーションを行いました。5つの質問に答えるスライドを事前に用意していたのですがデザインの分野や国によって表現方法が異なり面白かったです。このプレゼンによってある程度個人が印象付けられたように感じます。

KISDessentials

23～26日の4日間でKISD essentialsという校内の各施設の使い方を学ぶレクチャーがありました。初日は新生と留学生約100名全員でBlended & Writing Lab、Intercultural Training、2日目からは6グループに分かれてPhoto Studio、VR-Lab、C-Lab、Equipment Service、Screen Printing、Textile Labを体験しました。使い方は覚えきれなくても各施設には常にスタッフがいたので利用しやすいです。また、こうしたレクチャーの中でも意見を述べる機会や手を動かす機会が多く鍛えられます。



VR-Lab

Textile Lab

Screen Printing でトートバッグ作り

生活の状況

家探し

6月から寮にアプライしていましたが連絡が来ず、8月中旬から WG-GESUCHT というサイトを使って家探しを始めました。サイト内のチャットかメールや whatsapp などを通して大家さんと直接連絡をとります。何十件と送っても数件しか返信がなかったという話も聞いていたのですが、3件アプライして2件返事が来たので、とてつもなく運に助けられたと思っています。少ない経験からですが値段も含め迷いなくここがいいと思ったところが通ったので、自分と相手の生活スタイルとあっていること、経済力が心配ないこと、確実に入ること、コミュニケーションに問題がないことをアピールすることが重要なのではないかと感じました。



手続き

ついたらやるべきことは大学の冊子にもまとめられているので、順番にこなしていきます。これがないと次に進めないというものも多いため、少しずつの遅れが全体で大きな遅れにつながります。特に市役所は営業時間が短い上に営業時間 30 分前から 10 名ほど並んでいて 2 時間後に行った際には 3 時間以上待つことになったため学校が始まってからだと行ける日が限られてしまい、あっという間に遅れます。また、大学への enrollment、semester fee の振込を終えると州内の乗り物が乗り放題、シェアサイクルが使えるなど行動範囲が広がり動きやすくなります。余裕のあるうちに済ませておくのが良いと感じました。

街の様子など

到着直後は落書きが多く不安になりましたが、カバンが開いているのを指摘してもらえなど、油断は出来ませんが治安は良いように感じています。バリアフリーがあまり進んでおらず電車や建物でも段差が多いためか、人々がとても協力的でベビーカーや荷物を持っている人、お年寄りの方などが段差を上り下りする際は自然と手を差し伸べる人が多いこと、電車の席の譲り合いで座っている方の年齢がどんどん更新されていくことなどが印象的でした。他には街の至る所から演奏が聞こえてきたりととても暖かい街だと感じています。また、オーナーさんや大学の Buddy の方に他の街に連れて行ってもらい、ケルンとは全く違う雰囲気も味わうことができました。これからドイツの色々な面を知っていきたいです。

